

 シラバス参照／View Syllabus

授業情報／Class Information

[科目一覧へ戻る／Return to the Course List](#)

2020/05/12 現在／As of 2020/05/12

- ・ [基本情報／Basic Information](#)
- ・ [詳細情報／Detailed Information](#)
- ・ [授業計画詳細情報／Class Schedule Details](#)

基本情報/Basic Information

開講科目名 ／Course	全学総合講座(経営者が語る現代企業論2)／INTERDEPARTMENTAL LECTURES(BUSINESS MANAGERS DISCUSS CONTEMPORARY CORPORATIONS 2)
時間割コード ／Course Code	05605
開講所属 ／Course Offered by	大学全カリ総合科目／
ターム・学期 ／Term・Semester	2020年度／2020 Academic Year 秋学期／FALL SEMESTER
曜限 ／Day, Period	金2／Fri 2
開講区分 ／semester offered	秋学期／Fall
単位数 ／Credits	2.0
学年 ／Year	1,2,3,4
主担当教員 ／Main Instructor	上坂 卓郎

担当教員情報/Instructor Information

教員名 ／Instructor	教員所属名 ／Affiliation
上坂 卓郎	経営学科／MANAGEMENT
授業の目的・内容 ／Course Objectives	<p>この講義は、企業のトップマネジメント経験者が業界事情や企業経営の実務をやさしく講義するものである。講義では広範な業種の企業が取り上げられる。</p> <p>講義の受講を通じて、学生諸君が「企業とはなにか」を考え、本学で専門知識を深く学ぶ意義を発見したり、将来の職業選択のヒントを見つける契機となる授業である。</p> <p>なお、本科目は全学部の学生を対象としているので、企業や経営という言葉になじみの薄い学生にもわかるような平易な内容となっているが、時に専門用語も使用されることがある。</p>
授業の形式・方法と履修上の注意 ／Teaching method and Attention the course	<p>講師陣は、日本を代表する大企業の元経営者である。毎回多様な業種(製造業、非製造業)出身の講師がオムニバス形式で、企業の経営戦略や意思決定の実際について講義を行う。また社会に出て働くことについて、講師ご自身の豊富な経験から貴重なアドバイスも与えられる。</p> <p>概ね1年生でも理解できるように平易な説明が行われる。講義と平行して企業について勉強し理解を深めることを期待する。</p> <p>毎回の講義を一般的の講演のように聞き流す学生がいるが、毎回講義の中から自ら知識を掴み取る努力が必要である。また講師は実務経験豊富な</p>

	<p>慧眼の元企業経営者である。学生諸君が社会人候補として見られていることも忘れないように。遅刻・途中退出等は厳禁(事情がある場合は除く)。スマホの使用も認めません。授業の性格上独習はできない。特に就職活動を行う4年生は注意すること。 春と秋学期は講師陣、内容が異なるので、片方だけ受講しても支障ない。</p>
事前・事後学修の内容 ／Before After Study	事前学修としては業界地図や会社四季報などをみること。事後学修としては、配布された資料を基にノートを整理することや専門用語など理解できなかつたことを調べる。
テキスト1 ／Textbooks1	<p>書籍名 ／Title 著者 ／Author name 出版社 ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other</p> <p>毎回レジュメを配布する</p>
テキスト2 ／Textbooks2	<p>書籍名 ／Title 著者 ／Author name 出版社 ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other</p>
テキスト3 ／Textbooks3	<p>書籍名 ／Title 著者 ／Author name 出版社 ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other</p>
参考文献等1 ／References1	<p>書籍名/サブ名 ／Title 著者 ／Author name 出版社/URL ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other</p>
参考文献等2 ／References2	<p>書籍名/サブ名 ／Title 著者 ／Author name 出版社/URL ／Publisher ISBN ／ISBN その他(任意) ／other</p>
参考文献等3 ／References3	<p>書籍名/サブ名 ／Title</p>

	<p>著者 ／Author name</p> <p>出版社/URL ／Publisher</p> <p>ISBN ／ISBN</p> <p>その他(任意) ／other</p>		
評価方法 ／Evaluation	定期試験のみで行う(100%)。当然のことだが欠席の多い受講者は評価しない。なお追試、レポートは行わないで特に4年生は注意すること。講義開始後配布する「評価方法についての注意事項」を良く読むこと(入手できなかった学生は担当教員から指示を受けること)。		
関連科目 ／Related Subjects			
備考 ／Notes	開講日程、内容は若干変更の可能性がある。		
到達目標 ／Learning Goal	身近な難問や関心を学問に結び付け、現代社会に必要な教養を習得する動機づけとし、将来、様々な知的領域を探求できるようにする。		
回 ／Time	授業計画(主題の設定) ／Class schedule	授業の内容 ／Contents of class	事前・事後学修の内容 ／Before After Study
1	化成品産業におけるビジネス創造	化学メーカー役員が科学の発明・発見とビジネス創造の関係について講義する	
2	消費財のマーケティング実務	総合商社役員が海外と日本をつなぐ商社ビジネスについて講義する	
3	激変する電力事業	電力会社役員が日本のエネルギー・電力問題の現状と将来について講義する	
4	次世代自動車と自動車産業	自動車メーカー役員が自動車の未来、特に電動化、自動化というテーマについて講義する	
5	損害保険業界最前線	損害保険会社役員が企業に求める人材について講義する	
6	小売ビジネスにおける戦略	百貨店役員が音楽ソフト、スポーツビジネスや百貨店をモデルに講義する	
7	生命科学での発見と医薬品開発	再生医療メーカー社長が大学の研究成果が医療の現場に届くまでについて講義する	
8	携帯電話事業の変遷と今後の展望	電気メーカー役員が携帯電話ビジネスについて講義する	
9	製造業のサプライチェーン	タイヤメーカー役員が自動車産業との関係について講義する	
10	住宅事業・リノベーション	住宅メーカー役員が住宅の再生事業の例を講義する	
11	ICT社会におけるリスクマネジメント	外資系コンピュータ会社役員がソフトウェア開発にかかるリスクマネジメントについて講義する	
12	保険業界の現状と身近な課題	保険会社役員ががん患者からみた生命保険と損害保険について講義する	
13	「企業人」として身に付けて欲しい法律的センス	法律事務所代表パートナー弁護士が、企業が従業員に求める法律知識について講義する	
14	ICTビジネスの新潮流	外資系コンピュータ会社役員が最近の新しいICTビジネスの事例を講義する	

[科目一覧へ戻る／Return to the Course List](#)